

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	仙台YMCA国際ホテル専門学校
設置者名	学校法人仙台YMCA学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	ホテル科 ホテルコース	夜・通信	504 時間	160 時間	
	ホテル科 国際コミュニケーションコース	夜・通信	504 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.sendai-ymca.ac.jp/syllabus> にて公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台YMCA国際ホテル専門学校
設置者名	学校法人仙台YMCA学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sendai-ymca.ac.jp/organization> にて公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元株式会社大成建設 東北支店 支店次長	令和4年6 月11日～令 和7年6月 10日	コンプライアンス
非常勤	株式会社建設新聞社 代表取締役社長	令和4年6 月11日～令 和7年6月 10日	企画担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台YMCA国際ホテル専門学校
設置者名	学校法人仙台YMCA学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
授業計画は、以下のスケジュールで作成、公開している 8月 教育課程編成委員会にてカリキュラムポリシーを編成 10月 委員会にて各学科の方針を決定 2月 各担当講師によるシラバスの作成 4月 学生に配布説明するとともに Web サイトへ公開	
授業計画書の公表方法	https://www.sendai-ymca.ac.jp/syllabus にて公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
評価は、知識、技能、態度、出席状況、および、筆記・実技試験等を総合的に判断して付けられるが、科目ごとシラバスに記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の評価を行い、履修を認定する。 出席率については、80%以上の出席がなければ評価されない。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績は、科目によって5段階評価(A、B、C、D、F)、2段階評価(P、F)の2通りで行う。また、出席率80%に満たないものについてはN評価(評価できない)となり、Fと同様単位は取得できない。 5段階評価については、それぞれにGPを設定し、以下の算出方法で算出する。 A=4、B=3、C=2、D=1、F=0 $\text{GPA} = \frac{(\text{履修科目の単位数} \times \text{GP}) \text{の合計}}{\text{履修した講義の総単位数}}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.sendai-ymca.ac.jp/credit にて公表
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定に関する方針を定め、Webサイトにて公表している。 シラバスに記載されている「知識」「態度」「技能」「出席」の各項目の成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与を行っている。 最終的な卒業認定は、2月に実施される卒業判定会議にて決定をする。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.sendai-ymca.ac.jp/three_p にて公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	仙台YMCA国際ホテル専門学校
設置者名	学校法人仙台YMCA学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sendai-ymca.ac.jp/zaimu
収支計算書又は損益計算書	https://www.sendai-ymca.ac.jp/zaimu
財産目録	https://www.sendai-ymca.ac.jp/zaimu
事業報告書	https://www.sendai-ymca.ac.jp/annual_report
監事による監査報告（書）	https://www.sendai-ymca.ac.jp/zaimu

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホテル科 ホテルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,700 単位時間／単位	1440 単位時間 ／単位	72 単位時間 ／単位	1713 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	120 単位時間 ／単位
			3,345 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人以内		11 人	1 人	5 人	16 人	21 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育目標にそってシラバスを作成し、授業方法を学生に開示している。 https://www.sendai-ymca.ac.jp/syllabus にても公開
成績評価の基準・方法
（概要） カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーより、成績評価の方針を示し、各教科の評価についてはシラバスに記載の通り実施している。 https://www.sendai-ymca.ac.jp/syllabus にても公開
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業および進級に必要な時間数は学則に示している。5段階評価（A, B, C, D, F）及び2段階評価（P, N）を実施し、GPAによる評価を導入している
学修支援等
（概要） 担任制をとり、定期的な面談を実施するとともに、必要に応じて保護者への対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 (100%)	2 人 (18%)	8 人 (73%)	1 人 (9%)
（主な就職、業界等） ホテル、旅館、受付事務			
（就職指導内容） 就職指導授業、業界理解、就活集中セミナーの実施、個別相談・指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家資格レストランサービス技能士、ホテルビジネス実務検定、英語検定、秘書検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人（ホテル科総数）	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任が定期的な個人面談を行うほか、欠席が続いた時には保護者にも連絡する。連絡が取りやすいようにSNSなども利用する。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	ホテル科 国際コミュニケーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,700 単位時間／単位	1440 単位時間 ／単位	72 単位時間 ／単位	1713 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	120 単位時間 ／単位
			3,345 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
40 人の内数		1 人	0 人	5 人	16 人		21 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育目標にそってシラバスを作成し、授業方法を学生に開示している。 https://www.sendai-ymca.ac.jp/syllabus にても公開
成績評価の基準・方法
（概要） カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーより、成績評価の方針を示し、各教科の評価についてはシラバスに記載の通り実施している。 https://www.sendai-ymca.ac.jp/syllabus にても公開
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業および進級に必要な時間数は学則に示している。5段階評価（A, B, C, D, F）及び2段階評価（P, N）を実施し、GPA による評価を導入している
学修支援等
（概要） 担任制をとり、定期的な面談を実施するとともに、必要に応じて保護者への対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） ホテル、旅館、受付事務			
（就職指導内容） 就職指導授業、業界理解、就活集中セミナーの実施、個別相談・指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家資格レストランサービス技能士、ホテルビジネス実務検定、英語検定、秘書検定など			

(備考) (任意記載事項) 2021 年度設置コース (昨年度の卒業生なし)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人 (ホテル科総数)	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が定期的な個人面談を行うほか、欠席が続いた時には保護者にも連絡する。連絡が取りやすいように SNS なども利用する。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ホテル科	100,000 円	610,000 円	170,000 円	設備費、演習費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sendai-ymca.ac.jp/evaluation		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校の教育活動その他の学校運営の状況に係る評価を行うため学校関係者評価委員会を設置している。委員会は、次に掲げる委員 3 名以上をもって組織する (1) 卒業生 (2) 業界関係者 (3) 校長が必要と認めた者 委員会は、教員による自己点検評価内容について評価をし、教育活動、学校運営に反映させるための意見を述べる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ワールドトラベル	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日	業界関係
チェリーパークホテル	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日	業界関係・卒業生

株式会社アクティビティジャパン	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	業界関係・卒業生
ホテルメトロポリタン仙台	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	業界関係・卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sendai-ymca.ac.jp/evaluation		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sendai-ymca.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H104391010205
学校名	仙台YMCA国際ホテル専門学校
設置者名	学校法人仙台YMCA学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		－	－	－
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				－
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間		前半期	0人	後半期	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。